

はじめに

宇宙科学情報解析シンポジウムについて

2013年2月15日

JAXA/ISAS学際科学研究系

海老沢 研

宇宙科学情報解析シンポジウムの経緯

- 1993年4月、宇宙科学企画情報解析センター(PLAINセンター)の設立
 - Center for PLAnning and INformation Systems
 - PLAINセンターの当面の大きな課題は、宇宙研の大型計算機システム、ネットワーク、データベースのお世話をすることです。(PLAINセンターニュースより)
- 1995年3月、科学衛星サイエンス・データベース・シンポジウム開催
- 1996年3月、PLAINセンターシンポジウム開催
 - 宇宙科学企画情報解析センターでは「新しいネットワークの有効利用法」をテーマにシンポジウムを行います。
- その後、開催母体となる組織は変遷するが(後述)、毎年シンポジウムを開催

宇宙科学情報解析シンポジウムの経緯

- 2008年度、PLAINセンターは発展的解消し、科学衛星運用・データ利用センター(Center for Science satellite Operation and Data Archive; **C-SODA**)が設立
 - 同時に「宇宙科学情報解析研究系」が発足
- 2012年度、三つの研究系が合併して**学際科学研究系**が発足
 - 学際科学系において「情報解析」研究に関わるほとんどのメンバーがC-SODAに属し、データアーカイブ関連業務に従事
 - これらのメンバーが中心となって、ひきつづきシンポジウムを開催

学際科学研究系【研究主幹：吉田 哲也】

・宇宙科学の複数の分野にまたがる、または宇宙科学と周辺領域にまたがる学際領域、及び新たな宇宙科学分野の学術研究等

教授	准教授	助教
依田 眞一 (宇宙環境)	黒谷 明美 (宇宙環境)	岡田 純平 (宇宙環境)
石岡 憲昭 (宇宙環境)	稲富 裕光 (宇宙環境)	田村 隆幸 (情報解析)
石川 毅彦 (宇宙環境)	[筑] 足立 聡 (宇宙環境)	三浦 昭 (情報解析)
海老沢 研 (情報解析)	橋本 博文 (宇宙環境)	山本 幸生 (情報解析)
阪本 成一 (情報解析)	高木 亮治 (情報解析)	井筒 直樹 (大気球)
吉田 哲也 (大気球)	篠原 育 (情報解析)	福家 英之 (大気球)
[客] 山岸 明彦 (宇宙環境)	松崎 恵一 (情報解析)	矢野 創 (固体惑星)
[客] 真下 茂	齋藤 芳隆 (大気球)	
[客] 高井 研	[客] 天笠 俊之 (情報解析)	
	[客] 出村 裕英 (情報解析)	

[専] 専任教員 [客] 客員 () 旧所属

宇宙科学情報解析シンポジウムの経緯

- 開催主旨：
 - 近年、宇宙科学における様々な分野において、観測装置と計算機の大型化によって、以前に比べて飛躍的に大量のデータを取得することが可能になってきています。
 - そのために、観測から科学的成果を産出するにあたって、大規模データをいかに効率良く処理・解析し必要な情報を引き出すかが、新たな技術課題となりつつあります。
 - また、デジタル技術の普及に伴い、デジタルプラネタリウムや様々なアプリケーションに代表されるように、宇宙観測データが科学研究以外の分野でも広く利用されるようになってきています。
 - そこで、JAXA宇宙科学研究所・学際科学研究系では、宇宙科学データ(シミュレーションデータを含む)に関する新しい処理・解析・利用の手法、データベース技術やそれを応用したシステムの構築・運用技術など、宇宙科学、情報科学、情報技術にまたがる研究開発をテーマとした講演を広く集め、表記シンポジウムを開催致します。
- 「宇宙科学情報解析論文誌」の出版
 - シンポジウムの収録を中心に、上記のテーマに沿った査読論文を収録
 - JAXA 技術資料として出版
 - 第一号は出版済み(受付にあります)。第二号は印刷中。
 - 本年度のシンポジウムの集録を中心に第三号を出版予定

その他、logistics

- 発表資料をUSBメモリーで集めます
 - シンポジウムのHPから公開予定
 - 公開できる部分だけで結構ですのでご協力ください
- 無線LANが使えます
 - 接続方法は受付にあります
- 昼ご飯は食堂、生協または所外で
- 懇親会(G棟3階、18時から):
 - 会費(3,000円)は昼休みに吉田秘書または海老沢まで
 - 懇親会場(G棟)は常時施錠されているので注意
- 本館(A棟)横は常時、正面玄関も夜は施錠されます
- 淵野辺駅行きの宇宙研シャトルバス:
 - 16:30から20:30まで、毎時0分と30分